

高山川 水害を 悼む

昨年7月に、日本付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、全国各地で大雨となり、甚大な被害が発生しました。

気象庁は、鹿児島県を含む7県に大雨特別警報を発表し、最大級の警戒を呼び掛けました。

昨年7月3日から31日までの総降水量は、多い所で2000mmを超え、多くの地点で降水量が観測史上1位の値を記録し、球磨川や筑後川といった大川での氾濫が相次いだほか、土砂災害、低地の浸水等により、人的被害や物的被害が多く発生しました。

全国の被害状況は、死者84人、行方不明者2人、負傷者77人、住家全壊1621棟、半壊4504棟、一部損壊3503棟、床上浸水1681棟、床下浸水5290棟に及び、特に熊本県では球磨川の氾濫などで65人が犠牲となり、未曾有の大災害となりました。

肝付町でも「令和2年7月豪雨」に匹敵するような記録的な豪雨災害が発生した歴史があります。

今回は、かつて発生した記録的な豪雨災害について紹介します。




CONTENTS : 目次

広報きもつき vol.194 August 2021

- 02 目次
- 03 高山川水害を悼む
- 04 災害に備える
- 06 コロナワクチン情報
- 07 町からのお知らせ
- 08 まちの話題
- 10 結いの家特集
- 12 肝付町職員募集
- 13 肝付町会計年度任用職員募集 ほか
- 14 熱中小学校 ほか
- 15 道理改良工事に伴う通行止めのお知らせ ほか
- 16 楠隼中学校・高校だより

- 17 学校ニュース
- 18 京和のお国自慢 ほか
- 19 敬老祝い金 ほか
- 20 本の森
- 21 セーフティライフくみに岳
- 22 栄養士さんが教えるレシピ
- 23 肝付町産品レシピコンテスト ほか
- 24 一般広告
- 26 子育て支援施設紹介 ほか
- 27 人のうごき ほか
- 28 暮らしのカレンダー

 7月7日、180キロのクロマグロが高山漁協に水揚げされました。(表紙写真)

6月末から7月初旬にかけては、ブリの水揚げが一万匹を超える日もあるなど豊漁でしたが、それが落ちてきたころに思わぬ水揚げとなりました。

(表紙撮影
高山漁協 木原 徳彦さん)